§1 場合の数 (p.204~p.216)

7章 場合の数と数列

問 1

168を素因数分解すると,

 $168 = 2^3 \times 3 \times 7$

各素因数の指数はそれぞれ3, 1, 1であるから, 約数の個数は,

 $(3+1)(1+1)(1+1) = 4 \cdot 2 \cdot 2 = 16$ 個

問 2

(1) 各因数の指数はそれぞれ3, 2, 4であるから, 約数の個数は,

 $(3+1)(2+1)(4+1) = 4 \cdot 3 \cdot 5 = 60$ 個

 $(2) x^5 - x^3 = x^3(x+1)(x-1)$

各因数の指数はそれぞれ3, 1, 1であるから, 約数の個数は,

 $(3+1)(1+1)(1+1) = 4 \cdot 2 \cdot 2 = 16$ 個

問3

- i) *x* = 1のとき 1 ≤ *y* ≤ 12であるから, 12 個
- ii) x = 2のとき1 ≤ y ≤ 8であるから, 8 個
- iii) x = 3のとき1 ≤ y ≤ 4であるから, 4 個

和の法則より、求める個数は、12+8+4=24個

問4

 $3x + y + z = 12 \, \text{L} \, \text{D}, \ y + z = 12 - 3x$

i) x = 1のとき y + z = 9であるから、これを満たす正の整数の 組(x, y)は

(1, 8), (2, 7), (3, 6), (4, 5),

(5, 4), (6, 3), (7, 2), (8, 1)の8個

ii) x = 2のとき

y+z=6であるから、これを満たす正の整数の $\mathfrak{A}(y,z)$ は

(1, 5), (2, 4), (3, 3), (4, 2), (5, 1)の5個

iii) x = 3のとき

y+z=3であるから、これを満たす正の整数の $\mathfrak{A}(y,z)$ は

(1, 2), (2, 1)の2個

和の法則より、求める個数は、8+5+2=15個

問5

目の出方を(大の目,中の目,小の目)で表す.

i) 大の目が1になる場合(1, 1, 1)の1通り

- ii) 大の目が2になる場合(2, 1, 2), (2, 2, 1)の2通り
- iii) 大の目が3になる場合 (3, 1, 3), (3, 3, 1)の2通り
- iv) 大の目が4になる場合(4, 1, 4), (4, 2, 2), (4, 4, 1)の3通り
- v) 大の目が5になる場合(5, 1, 5), (5, 5, 1)の2通り
- vi) 大の目が6になる場合

(6, 1, 6), (6, 2, 3), (6, 3, 2), (6, 6, 1)の4通り 和の法則より, 求める個数は,

1+2+2+3+2+4=14通り

問6

- (1) 与式 = $5 \cdot 4 \cdot 3 = 60$
- (2) 与式 = $7 \cdot 6 \cdot 5 \cdot 4 = 840$
- (3) 与式 = 6
- (4) 与式 = $6 \cdot 5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1 = 720$

問7

- (1) 与式 = $3 \cdot 2 \cdot 1 = 6$
- (2) 与式 = $4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1 = 24$
- (3) 与式 = $\frac{10 \cdot 9 \cdot 8 \cdot 7 \cdot 6 \cdot 5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1}{9 \cdot 8 \cdot 7 \cdot 6 \cdot 5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1} = 10$
- (4) 与式 = $\frac{n(n-1)(n-2)\cdots 3\cdot 2\cdot 1}{(n-2)(n-3)\cdots 3\cdot 2\cdot 1} = n(n-1)$

問8

2つの母音a, eを両端に並べるときの並べ方は, 2!通り

その各々の並べ方に対して、母音の間に並べる 残りの 4 文字の並べ方は、4!通り よって、積の法則より、並べ方の数は、 $2! \times 4! = 2 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 = 48$ 個

問 9

(1) 6つの部屋から3つを選び, A, B, C の順に宿泊 する部屋を決めればよいので

$$_{6}P_{3} = 6 \cdot 5 \cdot 4 = 120$$
通り

(2) 連続する番号となるような部屋の選び方は, 1-2-3, 2-3-4, 3-4-5, 4-5-6, の4通りあり, その各々の部屋の選び方に 対して, 3人の部屋の選び方は, 3!通り よって, 積の法則より, 4×3! = **24通り**

問 10

1 つのさいころの目の出方は 6 通りあるから, $6^3 = 216 通り$

問 11

1人の手の出し方は3通りあるから、 $3^4 = 81$ 通り

問 12

1つの場所に置く数字は 0, 1 の 2 通りあるから, $2^{10} = 1024$ 通り

問 13

(1) 与式 =
$$\frac{10 \cdot 9 \cdot 8}{3 \cdot 2 \cdot 1}$$
 = **120**

(2) 与式 =
$$\frac{7 \cdot 6}{2 \cdot 1}$$
 = 21

(4) 与式 =
$$\frac{n}{1}$$
 = n

(5) 与式 = $_{n}P_{0} = 1$

問 14

左辺 =
$$\frac{n!}{(n-r)! \, r!}$$

右辺 =
$$\frac{n!}{\{n-(n-r)\}!(n-r)!}$$

$$= \frac{n!}{r!(n-r)!}$$
よって、左辺=右辺

問 15

(1)
$$_{8}C_{3} = \frac{8 \cdot 7 \cdot 6}{3 \cdot 2 \cdot 1} = 56$$
 5

(2) 男子を3人選ぶ選び方は, (1) より56通り. また,女子6人の中から2人を選ぶ方法は,

$$_{6}C_{2} = \frac{6 \cdot 5}{2 \cdot 1} = 15$$
 通 $_{9}$

よって, 積の法則より, 56×15 = 840通り

問 16

6個の点の中から2個を選べば1つの線分ができるので、線分の数は

$$_{6}C_{2} = \frac{6 \cdot 5}{2 \cdot 1} = 15$$

6個の点の中から3個を選べば1つの三角形ができるので、三角形の数は

$$_{6}C_{3} = \frac{6 \cdot 5 \cdot 4}{3 \cdot 2 \cdot 1} = 20$$
個

問 17

左辺 =
$${}_{7}C_{4} + {}_{7}C_{3}$$

= ${}_{6}C_{4} + {}_{6}C_{3} + {}_{6}C_{3} + {}_{6}C_{2}$
= ${}_{6}C_{2} + 2{}_{6}C_{3} + {}_{6}C_{4} = 右辺$

問 18

1が4個, 2が3個, 3が1個あるから, 求める整数の個数は,

$$\frac{8!}{4!\,3!\,1!}$$
 = **280**個

問 19

同じものが、3個、1個、2個ずつあるので、 求める並べ方の個数は、

$$\frac{6!}{3! \, 1! \, 2!} = 60$$
通り

青玉 2 個を 1 組とすると、赤玉 3 個、白玉 1 個、 青玉 1 組の並べ方の個数は、

$$\frac{5!}{3! \, 1! \, 1!} = \mathbf{20}$$
通り

問 20

(1) 6人の円順列なので

$$(6-1)! = 5! = 120通り$$

(2) 男子3人の並び方は、3人の円順列であるから

$$(3-1)! = 2! = 2$$

また、3人の女子が3か所ある男子の間に 並んでいけばよいから

$$2 \times 3! = 2 \cdot 6 = 12$$
通り

問 21

(1) 与式=
$${}_{6}C_{0}a^{6} + {}_{6}C_{1}a^{5} \cdot 1 + {}_{6}C_{2}a^{4} \cdot 1^{2} + {}_{6}C_{3}a^{3} \cdot 1^{3}$$

+ ${}_{6}C_{4}a^{2} \cdot 1^{4} + {}_{6}C_{5}a \cdot 1^{5} + {}_{6}C_{6}1^{6}$
= $a^{6} + 6a^{5} + 15a^{4} + 20a^{3} + 15a^{2} + 6a + 1$

(2) 与式=
$$_4$$
C $_0a^4 + _4$ C $_1a^3 \cdot 3b + _4$ C $_2a^2 \cdot (3b)^2 + _4$ C $_3a \cdot (3b)^3 + _4$ C $_4(3b)^4$

$$=a^4+12a^3b+54a^2b^2+108ab^3+81b^4$$

(3)
$$\exists \vec{x} = {}_{7}C_{0}x^{7} + {}_{7}C_{1}x^{6} \cdot (-1) + {}_{7}C_{2}x^{5} \cdot (-1)^{2}$$

$$+ {}_{7}C_{3}x^{4} \cdot (-1)^{3} + {}_{7}C_{4}x^{3} \cdot (-1)^{4}$$

$$+ {}_{7}C_{5}x^{2} \cdot (-1)^{5} + {}_{7}C_{6}x \cdot (-1)^{6} + {}_{7}C_{7} \cdot (-1)^{7}$$

$$= x^{7} - 7x^{6} + 21x^{5} - 35x^{4}$$

$$+ 35x^{3} - 21x^{2} + 7x - 1$$

問 22

この展開式の一般項は,

$$_{8}C_{r}\left(\frac{x}{2}\right)^{8-r}(-2y)^{r} = {_{8}C_{r}\left(\frac{1}{2}\right)^{8-r}(-2)^{r}x^{8-r}y^{r}}$$

 $x^{8-r}y^r=x^5y^3$ となるのは、r=3のときであるから、 求める係数は

$$_{8}C_{3}\left(\frac{1}{2}\right)^{8-3}(-2)^{3} = \frac{8\cdot7\cdot6}{3\cdot2\cdot1}\left(\frac{1}{2}\right)^{5}(-2)^{3} = -\mathbf{14}$$